

※ 本書は記入例です。実際の申請内容においては、各項目についてより具体的かつ詳細な記載をお願いいたします。

スタートアップを活用したリスキリングによる中小企業デジタル化支援
スタートアップ応募申請書

企業名

東京都中小企業振興公社

担当者メールアドレス

kosha_reskillinghelp@transcosmos.com

【1】各項目において、貴社の**具体的な方策**をそれぞれ記載してください。なお、講座は一連のカリキュラムではなく最小単位のもので回答してください。

「黄色」セルは必須項目です

1-1 講座提供方法における具体的な方策

学習効果を高めるための講座提供方法※の具体的な方策について記載してください。(100字以上)

※講座提供方法はe-learningによるオンデマンド(動画)、e-learningによるテキスト受講、通学(スクーリング)、リアルタイムオンライン、企業訪問、オンラインおよび対面の個別面談など

弊社講座については、学習効果を高めるため、まずはオンデマンド動画で事前知識を習得します。
その後、リアルタイムオンライン講義でワークショップを行い、実際に自社の課題を踏まえて取り組んでいただきます。
弊社講師からの受講者へ企業の課題にあったフィードバックを行い、より実践的なスキルを習得し、知識を定着させます。

155 文字

1-2 課題解決に向けた具体的な方策

提供いただくリスキリングメニューが、中小企業のデジタル化を推進していくために、都内中小企業とどのように課題解決(経営課題※の解決)へ繋がるか記載してください。(100字以上)

※経営課題とは、収益性向上、人材確保・人材育成、売上・シェア拡大、事業基盤の強化、新製品・新サービス・新事業の開発、デジタル技術の活用、従業員満足度の向上など

弊社が提供するリスキリングメニューは、中小企業のデジタル化を推進し、経営課題の解決に貢献します。
具体的には、弊社講師からの経営課題に沿ったフィードバック体制を設け、デジタル技術を活用した業務効率化やコスト削減を通じて収益性向上を支援します。
また、人材のデジタルスキル向上を促進することで、人材確保・育成にも繋げることができます。
さらに、デジタル化により新製品やサービスの開発が進み、売上や市場シェアの拡大を後押しし、従業員のスキル向上により、従業員満足度の向上にも寄与します。

241 文字

※受講提供時に発生する諸経費(企業訪問時の交通費など)を含めた費用設計としてください。

1-3 質疑応答における具体的な方策

受講者が講座内容を円滑かつ効果的に習得するため、質疑応答の具体的な方策について記載してください。

特に、受講者が質問しやすい環境をどのように整えているか、また質疑応答の形式、仕組み(ツール含む)、タイミングおよび講座提供方法に応じた柔軟な対応について具体的に記載してください。(100字以上)

弊社では、受講者が質問しやすい環境を整えるため、まずオンラインプラットフォーム上での匿名質問機能を導入し、気軽に疑問を投稿できるようにします。
また、定期的なライブ質疑応答セッションを設け、受講者がリアルタイムで質問できる時間を確保します。
質疑応答は講座の進行に応じて柔軟に対応し、個別のフォローアップも行います。

158 文字

【2】本事業で想定する提供講座内容について、提供形態を含めて、3講座それぞれについてシートごとにご記載ください。

本応募申請書とあわせて、会社紹介パンフレットや会社紹介資料(会社情報や提供するサービス、講座内容などがわかるもの)を添付し、ご提出ください。

※ 本書は記入例です。実際の申請内容においては、各項目についてより具体的かつ詳細な記載をお願いいたします。

スタートアップを活用したリスティングによる中小企業デジタル化支援
スタートアップ応募申請書

1講座目	入力状況→	入力完了	
------	-------	------	--

本事業で想定する提供講座内容について、提供形態を含めてご記載ください。

可能な限りe-learning（オンデマンド型）、リアルタイム講義型、企業訪問型などの形態を組み合わせでご記載ください。

「黄色」セルは必須項目です
※行や列の追加はしないでください

※記載いただいた講座内容等については、採択後に事務局と協議の上、調整させていただく場合もございます。

① 本事業でのメイン講座は 20～30 時間程度（1 回 1 時間～1.5 時間程度、週 2～3 回程度、3 カ月程度受講）の受講時間を想定しています。
また、1社あたり最大3講座程度を想定しており、内容は高度利用ではなく、一般的、汎用的（※1）なものとし、初級～上級でレベルを分けた講座の提供を行うものとします。

※1 一般的、汎用的な想定

- 例1：担当者がECサイト構築やバックオフィスの自動化等に向けて事業者（ITツールベンダー等）に発注ができるようになる、自社の業務活動についてデータを用いた分析を自ら行えるようになる
- 例2：デジタル化に関するリテラシー・知見が低い経営者層が会社の経営計画にデジタル化の観点を盛り込めるようになる
- 例3：普段、インターネット検索や簡単なワード、エクセル処理を行っている従業員等がITリポート、G検定、データサイエンティスト検定等の取得もしくは同等レベルの知識を身につける
- 例4：従業員にロボット技術の基礎知識や操作方法を身につけさせることで、人とロボットが協力して作業を行い労働力の不足や負担軽減する

※難易度イメージは以下のようなレベルを想定

- ★☆☆☆☆ 初級（理解レベル） 基本用語や概念を理解し、内容を説明できるレベル
- ★★★★☆ 初中級（操作レベル） 手順に沿ってツールやシステムを操作し、基本的な作業が実施できるレベル
- ★★★☆☆ 中級（自走レベル） 自らツールやデータを活用し、業務改善や分析等を実施できるレベル
- ★★★★☆ 中上級（設計レベル） 業務課題に応じて適切な手法・ツールを選定し、設計・構築ができるレベル
- ★★★★★ 上級（戦略レベル） 全社的なDX推進や戦略立案、組織への展開・意思決定ができるレベル

② 受講開始前の受講者とのやり取り（受講に向けたフォロー、面談など）は1コマ目として記載してください。

1-1：講座メインテーマ

※プルダウンより選択

DX

講座メインテーマ：その他

※自由記述(資格取得等)

1-2：講座提供について

※プルダウンより選択

既存講座で提供

※この講座が最も当てはまるテーマを選んでください。

1-3：講座情報

受講費用

200,000

円 (税込み)

費用単位

1名あたり

例：1社あたり／1名あたり／1社あたり〇名まで受講可 等

受講時間

25.0

時間

1-4：講座難易度※プルダウンより選択

初級

※受講提供時に発生する諸経費（企業訪問時の交通費など）を含めた費用設計としてください。

1-5：講座名

基礎的ITリテラシー講座

1-6：講座概要のURLがある場合はURLを記載してください

<https://www.tokyo-kosha.or.jp/index.html>

1-7：この講座で学べる事（200文字以上）

「基礎的ITリテラシー講座」では、デジタルトランスフォーメーション（DX）の基礎知識を学びます。
具体的には、ITの基本概念やインターネット、クラウドサービス、セキュリティの重要性、データの扱い方など、現代のビジネスに必須となるITスキルを習得します。
さらに、業務の効率化や競争力向上のためのデジタルツール活用法も紹介し、実践的な知識を身につけることができます。
これにより、DX推進に向けた基盤を作り、企業の変革に貢献できる人材を育成します。

223 文字

1-8：こんな方におすすめ（メインターゲット）

- ・DXやデジタルツールを活用した業務改善を目指している方
- ・社内のDX推進に向けて、メインで活動していきたいと考えている方

※なるべく箇条書きで記載ください。

1-9：受講の前提条件（知識）

- ・基本的なPC操作やファイル管理が問題なく対応できる
- ・Officeツールで報告書や簡単な資料作成ができる

※なるべく箇条書きで記載ください。

1-10：講師情報

提供講座でメインの講師として対応いただく方の情報を記載してください

講師氏名	経歴
山田太郎	IT企業にてシステム開発および業務改善プロジェクトに従事。その後、DX推進コンサルタントとして中小企業向けに業務のデジタル化支援やITリテラシー向上研修を多数実施。

1-11：講座情報

コマ数	所要時間	講座提供形態	提供形態：その他の場合	コマ名	学習内容詳細
1	120分	スクーリング（開催地への通学）		イントロダクション：DXとは	・DXの基本概念 ・DXの重要性とビジネスへの影響 ・ITリテラシーとDX推進の関係
2	60分	e-learning（テキスト）		理解度テスト	DX基本概念の理解度テストを実施します。 E-learningによるオンデマンド形式で実施し期日までに受講者へ受講・テストの提出を実施いたします。

3	180分	e-learning (動画)		DXの基礎知識：デジタル技術とその進化	<ul style="list-style-type: none"> ・DXに関連する最新技術の紹介 ・各技術の企業での活用事例と効果 ・DXを進めるために必要なインフラと準備
4	180分	e-learning (動画)		ビジネスプロセスとDX：業務改革の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・DXを活用した業務プロセスの見直しと方法 ・業務のデジタル化と自動化の基本 ・ワークフローの改善と効率化 ・業務のデジタル化と進め方のロードマップ
5	60分	リアルタイムオンライン講義 (対1)		質疑応答・面談	講座の進捗状況や不明点に対するの質疑応答を講師と1対1で行います。企業のDX化に向けたご相談も承ります。
6	180分	e-learning (動画)		クラウドコンピューティングとDX：柔軟なIT基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドコンピューティングの基礎 (SaaS、PaaS 等) ・DXにおけるクラウドの活用方法 ・クラウドサービス選定のポイントと導入方法 ・セキュリティとクラウドのリスク管理
7	180分	e-learning (動画)		AIと機械学習：DXを支える革新的技術	<ul style="list-style-type: none"> ・AI (人工知能) と機械学習の基本 ・AIを活用した業務効率化の事例 ・機械学習の基礎とそのビジネス活用方法 ・AI導入の際の課題と注意点
8	60分	リアルタイムオンライン面談 (対1)		質疑応答・面談	講座の進捗状況や不明点に対するの質疑応答を講師と1対1で行います。企業のDX化に向けたご相談も承ります。
9	180分	e-learning (動画)		DXの組織変革：企業文化と人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・DX推進に必要な企業文化とマインドセットの変革 ・DXを成功に導くためのリーダーシップと組織づくり ・DX人材の育成とスキルアップ方法 ・チームビルディングと社内教育の進め方
10	180分	その他	ドリル形式の実践演習	まとめ実践演習：自社におけるDX導入計画	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだことを活かし、DX導入のシミュレーション ・DX推進に向けた課題とその解決策の策定 ・自社におけるDX導入計画の作成
11	120分	スクーリング (開催地への通学)		発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・自社におけるDX導入計画の発表ワークショップおよび講師からのフィードバック ・今度のステップアップに向けたアクションプランの策定と発表
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

1-12：講座提供に伴い利用するシステムがあれば記入をお願いします

ソフトウェア・クラウドサービス名/開発元	利用料 有料/無料	利用目的/利用方法	URL
Zoom /Zoomビデオコミュニケーションズ社	無料	リアルタイムオンライン講義時に使用	https://www.zoom.com/ja

本応募申請書とあわせて、会社紹介パンフレットや会社紹介資料（会社情報や提供するサービス、講座内容などがわかるもの）を添付し、ご提出ください。